

2011年11月7日

各 位

学校会計固定資産研究会  
会長 古山 和男

公印略

### 第126回学校会計固定資産研究会開催のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、第126回研究会・交流会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

敬具

#### 記

名 称 : 第126回研究会・交流会

日 時 : 2011年12月7日(水)

受 付 : 13:30

開 会 : 14:00(時間厳守)

会 場 : 〒275-0016

千葉県習志野市津田沼2-17-1

千葉工業大学 津田沼キャンパス

◆研究会:新1号棟 3階 大教室

◆交流会:新2号棟 20階 ラウンジ

内 容 : ■第126回研究会 14:00~15:00

演題:『キャンパスの再開発計画について』

講師:前田 修作(まえだ しゅうさく)氏

(千葉工業大学 施設部 次長)

■施設見学会 15:00~16:00

平成18年度から5ヵ年をかけて進めてきたキャンパス再開発計画が、本年3月の津田沼校舎新2号棟の竣工をもって、一応の完成を迎えた。

平成20年3月に芝園キャンパスの12号館が竣工した事を皮切りに、津田沼キャンパスでは平成20年8月に新1号棟が竣工、平成22年3月に新学生ホール棟、本年3月には新2号棟の竣工と、既存校舎の解体工事を都度挟みながら新校舎の建設を進めてきた。

新1号棟・新2号棟は、JR津田沼駅前の好立地を活かし、大学としての風格を現すとともに、地域のランドマークとなるべくデザインされている。このシンボルとなるツインタワーは、環境保全に配慮しながら、機能性に優れ、将来の計画変更にも柔軟に対応できる設計を採用している。各学科のオフィス・ラボや実験室を主に収容した他、アスレチックジムや、太陽光発電設備、屋上庭園などを整備した。また、新1号棟・新2号棟ともに、地震の揺れを減衰させる制振構造を取り入れ、安全性はもとより建物内の知的財産を守ることを目指した。

津田沼キャンパスの容積率の関係から、高層棟建設と既存校舎の解体計画も合わせた、再開発計画の全容を振り返り解説する。

■交流会 16:00~18:00

※本交流会は、会員相互の交流・親睦をはかることを目的とし、研究会

ではなし得ない情報交換等を行っていただく機会として、毎年実施して

おります。初めての参加の方でもお気軽にご参加下さい。

以上

■申込み■

貴大学からの参加者氏名(1校3名までとさせていただきます)を別紙参加申込書に記入の上、**11月25日(金)までに、FAXにてご送付ください。**

欠席される大学もその旨を必ずご連絡ください。

ご連絡先(FAX送付先)は、下記、事務局までお願いいたします。

■送付先&連絡先■

〒113-0034

東京都文京区湯島2-18-6 夏目ビル6階

学校会計固定資産研究会事務局

**FAX : 03-3816-1281**

E-mail : kenkyukai@koteishisan.com

<会場案内図>

千葉工業大学 津田沼キャンパス

